



JACET通信

一般社団法人大学英語教育学会

December 2020 The Japan Association of College English Teachers No.209

目 次

巻頭言（寺内一）	1 頁	本部だより（下山幸成）	10 頁
JACET 創立 60 周年記念ウィーク（内藤永）	8 頁	支部だより	23 頁

【巻頭言】

創立 60 周年を迎えるにあたって

—JACET の意義と使命を果たすために—

一般社団法人大学英語教育学会会長 寺内 一
高千穂大学

平素は本学会の諸活動に対し、格別のご支援を賜りましてまことにありがとうございます。紙版の巻頭言では、今回の『JACET通信』209号が、私の会長とし

て最後のご挨拶となります。2021年6月の任期満了まで、一生懸命職務を全うする所存でございます。

Web版の第208号でも申し上げましたが、今年度は、

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員の皆様の日々の活動も大きく制限されてまいりました。JACETもご存知のように、9月に同志社大学開催を予定しておりましたJACET第59回国際大会（京都、2020）が中止を余儀なくされ、各支部での大会等も延期や開催方法の変更を行わざるを得なくなりました。さらには、12月5日（土）と6日（日）には第3回JAAL in JACET（日本応用言語学会）学術交流集会（オンライン、2020）も、JACET第59回国際大会（京都、2020）からの一部のスライド発表を含めてすべてオンラインで開催いたしました。会員の皆様が所属する大学等の組織においても、遠隔授業・遠隔会議が推奨され、今までと同じ活動が必ずしも実施はできていない状況となっているのはご承知のとおりです。

そのJACETは、いよいよ2022年には創立60周年を迎えます。その先駆けとして、2021年8月25日（水）から29日（日）にかけて、国際大会やサマーセミナーは「JACET創立60周年記念ウィーク」としてジョイントしたイベントとすることになり、JACET創立60周年記念ウィーク特別委員会を立ち上げ、鋭意準備しております。この特別委員会に関しては、内藤理事兼委員長が本通信でまとめていますのでご覧ください。一言だけ申し添えますと、今回の「JACET創立60周年記念ウィーク」はすべてオンライン開催となります。ということで、JACET会員の皆様はもちろんのこと、海外提携学会の一般会員の方、AILA Affiliatesのメンバーの方などが発表する機会を作りました。60周年記念にふさわしいセミナーと国際大会になることが期待されますので楽しみにしてください。

本稿では、最初に、2020年4月1日付で新たに顧問と名誉会員にご就任いただきました先生方をご紹介します。そして、創立60周年を迎えるJACETが、この先の60年に向けて考えるべき点、特に、組織面について、ご提案させていただきたいと思えます。

1 新顧問と新名誉会員のご紹介

2020年4月1日付で新たに顧問、名誉会員にご就任いただいた方は以下のとおりです。

新顧問 倉橋洋子氏

新名誉会員 高梨庸雄氏、Willy Renandya氏、Marlies Whitehouse氏、Angel M. Y. Lin氏

2 創立60周年のJACETの現状と今後

まずは、創立60周年を迎えるJACETが抱える2つのポイントを挙げさせていただきます。

2.1 会員数の問題

1962年に120人でスタートしたJACETは、AILA '99 (Tokyo)の前年の1998年に3,067人となり会員数はピークを迎えました。下表をご覧ください。

JACET 創立以来の会員数（8月1日現在の経年変化）

	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970
個人会員	120	131	177	242	234	214	263	377	494
賛助会員								26	29
団体会員		38	44	47	28	21	15	28	30
計	120	169	221	289	262	235	278	431	553

会員の中の大学、研究室を団体会員としてカウント

特別会員を賛助会員としてカウント

	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
個人会員	543	683	652	723	708	720	731	755	802
賛助会員	36	46	49	49	52	47	46	49	52
団体会員	33	37	41	43	43	39	39	37	41
計	612	766	742	815	803	806	816	841	895

	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
個人会員	818		1,047	1,259	1,474	1,367	1,597	1,611	1,723
賛助会員	53		64	67					
団体会員	36		38						
計	907		1,150	1,393	1,617	1,506	1,741	1,738	1,879

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997
個人会員	1,818	1,955	2,017	2,071	1,950	2,186	2,476	2,712	2,897
賛助会員				84	59	68	77	82	90
団体会員				48	50	52	55	56	56
計	1,966	2,094	2,145	2,203	2,059	2,306	2,608	2,850	3,043

	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
個人会員	2,930	2,702	2,714	2,718	2,777	2,609	2,571	2,494	2,579
賛助会員	88	79	69	68	69	75	73	71	74
団体会員	49	49	45	47	48	46	47	45	41
計	3,067	2,830	2,828	2,833	2,894	2,730	2,691	2,610	2,694

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
個人会員	2,594	2,615	2,629	2,624	2,562	2,527	2,531	2,541	2,474
賛助会員	75	74	74	72	64	62	65	66	65
団体会員	38	37	37	34	33	32	33	32	31
計	2,707	2,726	2,740	2,730	2,659	2,621	2,629	2,639	2,570

	2016	2017	2018	2019	2020	参考：2020.8.21 納入済			
個人会員	2,483	2,454	2,418	2,309	2,217	1,444			
賛助会員	68	70	66	65	63	48			
団体会員	29	28	27	26	25	22			
計	2,580	2,552	2,511	2,400	2,305	1,514			

その後、徐々に減少傾向を辿り、2020年8月1日の時点で2,305人となっています。特に、2018年度からの3年間で100人弱ずつ減少しており、あと数年で2,000人を割り込む可能性があります。この原因の一つとして、団塊の世代の先生方の大量退職、新たに大学の英語教員になる人材の減少、さらには複数学会には所属しない、あるいは、学会自体にも所属しない教員が増えてきていること、企業出身者等の英語教員の多様化、そして、大学そのものが英語教育をアウトソーシングしているところが増えてきているなど、様々な要因があると思われます。いずれにいたしましても、会員数が2,000人を下回る時代が来ることは十分想定できますので、対応策を講じて行く必要がでてまいりました。

2.2 遠隔元年の産物

ご承知のように、新型コロナウイルス感染症のために、2020年度の事業計画と予算は大きく変更せざるを得なくなりました。この新型コロナウイルス感染症の影響は想像以上に大きいものとなり、2020年度はまさに「遠隔元年」ともいえるでしょう。

『JACET通信』第208号でも触れましたが、全国の会員の皆様が、JACETのさまざまなイベントに遠隔で参加できるようになったということはこの感染症がもたらしたプラス面ととらえることができます。特に、関東支部大会、中部支部大会、関西支部大会、中国・四国支部大会、九州・沖縄支部大会は遠隔形式で開催され、今までにはない参加者が集まりました。それにより、支部を超えた参加も可能になり、JACETの支部活動の大きな方向性ともいえるものになる可能性が出てまいりました。2019年度に発足した将来構想委員会におきまして、支部活動と本部の活動の棲み分けということをJACETの大きな課題の一つとして議論を重ねてまいりましたが、これからの支部活動、特に、支部大会が遠隔形式で実施されたことは今後に対してとても大きなことであったと思います。

遠隔元年は、JACETという学会のさまざまな事業

を運営するという意味でもきちんとあてはまり、支部（地域）という距離がなくなり、まさに遠隔で情報共有を行なうことが可能となったといえます。

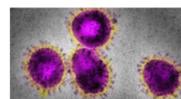
2.1と2.2を図で表すと以下のようになります。

JACET会員2,000名規模が目前

恒常的人手不足
学会運営にも支障

2020年度「遠隔元年」による大学環境の激変

支部からの参加が可能
物理的距離は実質なし



2.3 遠隔元年を迎えたJACETの組織の再編

それでは、その遠隔元年を迎えたJACETは将来どのように活動していくべきかを将来構想委員会と理事会で最終判断した案を提示します。

ご承知のように、JACETは一般社団法人化する際に、以下の事業を行うということを『定款』に定めました。

- 一 大学英語教育及び言語教育関連の研究理論の発表及びその実践結果の報告のための大会、セミナー等の開催
- 二 紀要、学会誌等の出版物の刊行
- 三 大学英語教育に係る研究者・学術団体・諸機関の実践活動に対する表彰
- 四 大学英語教育に係る研究者・学術団体・諸機関との協力
- 五 大学英語教育及び言語教育関連の理論及びその実践方法に関する調査・研究
- 六 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上の一から五までをそれぞれ第1号事業から第5号事業として、六を法人事業として、JACETは日々の学会活動を行っています。それを統括運営しているのが以下の本部の委員会です。支部の大会や紀要などの活動もすべてがこれらの各事業に組み込まれています。現組織をご覧ください。



JACET会員2,000名規模が目前

この組織形態はJACETが任意団体の時から維持されている長い歴史を持つもので、会員数が3,000人規模であった時には、各委員会に所属するメンバーも豊富で十分機能しておりました。しかしながら、先述のように会員数が2,000人を目前にしている現在では、先述のように、遠隔時代に呼応し、かつ、より効率的に学会運営を行っていく必要が出てまいりました。そこで、本部の現行の委員会を統廃合して、事業ごとに委員会を作ることになりました。各事業で実施する内容を再吟味したものが下記のリストになります。

遠隔元年を迎えたJACETの将来に向けて

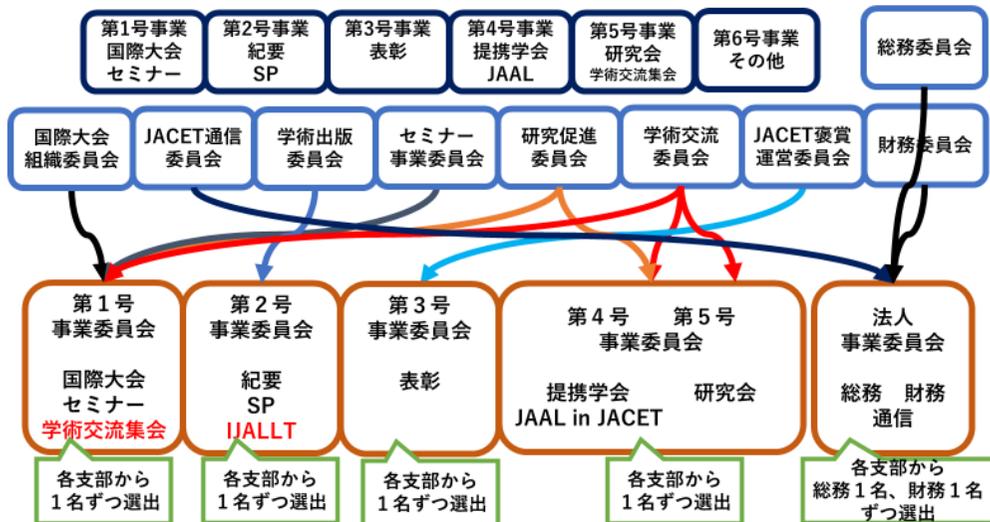
- 1) 大幅な組織のスリム化の必要性
- 2) 本部・支部の垣根を超えた学会（研究）活動の再構築



遠隔元年を迎え各事業の企画の見直し

- 1号事業**（国際大会・セミナー・JAAL in JACET・支部大会等の遠隔方式とのハイブリッド型の可能性の模索）
- 2号事業**（IJALLT新国際誌・紀要・SP・Proceedings・支部紀要の整理）
- 3号事業**（表彰関連：JACET賞とそれ以外の賞の整理）
- 4号事業**（学術交流：内容の再構築・関係諸学会との共同研究の可能性）
- 5号事業**（研究促進：研究会活動の再活性化・産学官研究活動の促進）
- 法人事業**（賛助・団体会員の場の提供、管理費関連の圧縮）

上記の事業を再整理したのが以下の委員会（案）です。



大きな考え方としては、カンファレンス系が第1号事業委員会、紀要などの学術出版系が第2号事業委員会に、JACET賞などの表彰関係が第3号事業委員会、提携学会との交流、JAAL in JACETや研究会活動を第4号事業・第5号事業委員会（さらに統合するかどうかは検討中）に、そして、総務・財務・通信などを法人事業委員会として業務ごとに再編されることとなります。業務ごとに委員会が整理されることにより、同じような作業を委員会ごとに別々に行っていた無駄がなくなり、より効率的になることが期待されます。もう一つのポイントは遠隔元年になったことで、今まで参加しただけでなかった支部選出の運営委員の皆様が物理的に運営に携わっていただくことが可能になりました。まさに、全国規模のJACETという組織を活かしたものになっていきます。

なお、この本部運営委員会の再編成は2022年度からの実施を目指しており、12月5日・6日に実施された第3回JAAL in JACET（日本応用言語学会）学術交流集会と、2021年8月25日から29日までのJACET創立60周年記念ウィーク（オンライン、2021）で実証実験を重ねて再検討を行っていく予定です。

さらに、再統合された各号事業委員会においては、2号事業委員会では新国際誌の企画、4号事業委員会では海外では従来の提携学会や会員となっているAILA Affiliateとの連携の強化、Asia TEFLとの協定の締結、国内においては応用言語教育関連学会との協働、第5号事業委員会では産学連携、研究会組織の再編と連携研究の推進などが実施されていくこととなります。

3 ポストコロナ時代でのJACETの役割とその使命

『JACET通信』第208号でも述べましたが、新型コロナウイルス感染症は学会活動にも大きな衝撃を与えながらも、JACETという学会の意義を再確認する機会にもなりました。

学術団体であるJACETがその目的が示すように、JACETは1962年の創立以来、「英語教育および関連分野の理論と実践に関する研究を行い、大学における英語教育の改善と進歩、発展に寄与することを目的（『JACET綱領』）としてきました。そして、先の『定款』で定めているように、専門家集団であるJACETが行うべきことは、大学英語教育、ひいては日本の外国語教育の改善を目指すことであり、日本および世界の人類の発展のために専門家としての知見を見出すことを使命としてきました。JACETは60年という歴史の中で、研究と経験を重ね、それぞれの時代に対応するための多くの知見を蓄積し、発信してまいりました。この知見を出し、世に貢献していくことは、JACETが60年行ってきたものであり、これからのポストコロナ時代でも変わらず実施していくべきものなのだと思います。こういう時代だからこそ、言語教育の専門家集団であるJACETの出番が求められているのです。

JACET会員の皆様、いかなる時代になろうとも、何事にも変化に柔軟に対応しながら、専門家集団としてのJACETが培ってきた英語教育、外国語教育に対する真摯な研究と実践(教育)を重ねていくことこそが、次世代の人間の育成に寄与することにつながると信じています。この未曾有の時代であるからこそ、JACETという専門家集団が一丸となってこのポストコロナ時代のできることを、自信をもって実行していただくことを心から願っております。

以上、思いもかけない新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活が大きく変わってしまった今だからこそ求められる、JACETの意義と使命について述べてまいりました。専門家集団としてのJACETの発展と、日本および海外も含んだ英語教育に貢献できるよう今後とも最善を尽くしてまいりますので、会員の皆様の益々のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

JACET 創立 60 周年記念ウィーク
—Reflection and Reconnection—

同特別委員会
担当理事（運営統括）・委員長
内藤 永（北海学園大学）

JACET は、寺内会長からの巻頭言でも触れられていましたように、2021 年に創立 60 周年を迎えます。この 60 年間に JACET の会員は増え、活動もグローバルに広がりました。この 60 年間の活動の総括をするために設定された『JACET 創立 60 周年記念ウィーク』（以下、記念ウィーク）を運営するために、2020 年 8 月の第 3 回理事会において JACET 創立 60 周年記念ウィーク特別委員会が正式に発足しました。本稿では、本委員会の設立の背景、委員会の構成員、そして、記念ウィークの概要をご紹介します。

【背景】 JACET は設立以来の 60 年の間に多岐に渡る活動を展開しています。会員が交流するカンファレンス系の活動としては、国際大会、サマーセミナー、英語教育セミナー、JAAL in JACET（日本応用言語学会）学術交流集会があります。それぞれ、国際大会組織委員会、セミナー事業委員会、研究促進委員会、学術交流委員会が主体となって運営がされています。現在、運営上の課題となっているのが「人手不足」です。JACET の会員は、1998 年の 3,067 名をピークに、本年度の 2,305 名まで減少しました。このような状況で従来の活動を維持・発展させるためには、これまでの組織、委員会の見直しが必要となっています。具体的には、これらカンファレンス系の活動の効率化を図り、類似する業務は横断的に実施することが考えられます。本委員会では、これらを踏まえて、カンファレンス系の運営に携わる 4 つの委員会を中心に集まり、記念ウィーク期間中に開催されるサマーセミナーと国際大会の両方を横断的に運営することになりました。

【委員会の構成員】 委員会は、理事で構成され計画

と実施の意思決定をする執行部、担当者間の調整を図り情報共有の司令塔となる委員長、副委員長、そして、個々の担当を自律的に果たしていく委員で構成されています。それぞれの役割を 2020 年 11 月現在で以下の先生方をお願いしています（敬称略）。

担当理事（対外交渉）・小田眞幸、担当理事（財務・企画）浅川和也、担当理事（支部連携・文書管理）佐藤雄大、担当理事（運営統括）・委員長内藤永、副委員長（プランニング・会場）・金丸敏幸、副委員長（会員サービス）・上田倫史、副委員長（広報・渉外・運営）・渡辺敦子、《企画担当》飯島優雅（チーフ）、浅川和也、山川健一、高橋博、《プログラム担当》大和田和治（チーフ）、吉田諭史、荒木瑞夫、中山夏恵、《IT 担当》吉原学（チーフ）、山口高嶺、金田拓、南部匡彦、《連携担当》相川真佐夫（チーフ）、Leah Gilner、鈴木彩子、浅岡千利世、川上典子、柿元悦子、堀部秀雄、祐乗坊由利 ジョディー、Blagoja Dimoski、マスマナ紗矢子、小林和歌子、《海外関連担当》石川友和（チーフ）、川井一枝、中津川雅宣、原隆幸、今井光子、大矢政徳、《一般発表担当》大矢政徳（チーフ）、加藤由崇、《賛助担当》森本俊（チーフ）、黒嶋智美、Rasami Chaikul、《Proceedings 担当》加藤由崇、山田浩、Timothy Phelan、山西博之、《広報担当》石川希美（チーフ）、山田政樹、三ツ木真実、Jeremie Bouchard、《ゲスト会場担当》藤田玲子（チーフ）、長崎睦子、小島さつき、《リエゾン担当》マスマナ紗矢子（チーフ）、小林和歌子、《受付担当》村上裕美（チーフ）、東郷多津、笹井悦子、馬場千秋

記念ウィークが近づくとも様々な業務が増えてきますので、皆様の更なるご協力、委員会への参加をどうぞよろしくお願いいたします。

【記念ウィークの概要】『JACET 創立 60 周年記念ウィーク』は、2021 年 8 月 25 日（水）～29 日（日）に開催されます。



右：記念ウィーク公式サイト QR コード



左：記念ウィーク・発表募集要項 QR コード

当初は、中国・四国支部にホストいただき、安田女子大学で開催する計画でしたが、コロナ禍の影響もあり、全面的にオンラインで実施することを決めました。オンラインに移行することで、延期や中止を心配することがなくなりました。記念ウィークのテーマは、冒頭に掲げた『Reflection and Reconnection』です。JACET 創立 60 周年を振り返ることで未来を展望すると同時に、世代間、国境、物理空間と仮想空間を超えて学際的な研究を加速させようとの思いが込められています。開催趣旨など詳細については、特設の記念ウィーク公式サイト (<http://jacet.org/jacet60th>) をご覧ください。

記念ウィークのメインスピーカーとしては、Dr. Jihyeon Jeon (Ewha Womans University, Korea, ASIA TEFL 会長)、Dr. Le Van Canh (Vietnam National University, Vietnam)、Dr. Judy Noguchi (Kobe Gakuin University, Japan, 元 JACET 副会長) 以上の 3 名を招聘します。

第 1 日目と第 2 日目には、第 48 回サマーセミナーとして、3 名のメインスピーカーによるレクチャーが行われます。「時代が変わる、指導が変わる、教材が変わる—わたしたちは何をすべきか」をテーマとして、この変化が激しい時代の中での英語教育を参加者とともに考えます。中日である第 3 日目から「時代の変化を乗り越える英語教育—Society 5.0 という現実を迎えて」をテーマに第 60 回記念国際大会が行われます。午前中には、JACET の会員、賛助団体、研究会、支部から企画を募って、シンポジウムやワークショップを多数開催し、お祭りのように盛り上げます。午後には、第 60 回記念国際大会の開会式、そして、メインスピーカーによる基調講演があります。第 4 日目と第 5 日目の午前中は一般発表を集中して行います。この一般発表では、真の国際大会とするために、海外提携学会や AILA と連携をして海外からの参加者を幅広く募ることとしました。オンライン開催のため教室数の心配がなくなりましたので、会員のみならず、非会員であっても第 1 発表者になることができ、一般発表の門戸を広く開くこととなりました。2021 年 1 月 4 日～2 月 28 日まで「研究発表」と「実践報告」の 2 部門のみ募集されます。3 月の査読結果で合格した方全員に、4 月と 5 月に Proceedings を執筆いただいた上で、発表していただきます。また、記念ウィーク終了後には JACET Selected Papers Vol. 8 に応募することができます。詳しくは、<https://jacet.org/jacet60th/requirements/cfp/> をご覧ください。第 5 日目の午後は、海外提携学会の会長を招聘してのシンポジウム、AILA East Asia, JAAL in JACET (日本応用言語学会) の各シンポジウム、JACET の過去、現在、未来をテーマとしたシンポジウムを開催して、Reflection and Reconnection と題した記念ウィークを閉める予定です。

この記念ウィークでは、海外から多数参加いただくこと、業務の効率化・迅速化・電子化を図ることを狙いとして、PayPal による参加費納入をお願いしま

JACET 創立 60 周年記念ウィークの日程概要

全面オンライン開催

第 1 日	第 2 日	第 3 日	第 4 日	第 5 日
第 48 回サマーセミナー		第 60 回記念国際大会		
	講義 まとめ プレ講義	企画 シンポ	一般発表	一般発表
		会長講演 基調講演		特別 シンポ
交流会	交流会	交流会	交流会	

す。従来の郵便振り込みとは異なり、クレジットカードを使用した振り込みとなりますので、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

本部だより
代表幹事 下山幸成（東洋学園大学）

平素より JACET の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、本部からは6月21日（日）にオンラインで開催されました定時社員総会の議事録、ご質問受付期間を8月11日（火）～8月15日（土）とさせていただいた会員総会の報告、および、2019年度の事業状況報告書、収支計算書、財産目録、監事監査報告書をお知らせいたします。

一般社団法人大学英語教育学会
2020年度定時社員総会議事録

日時：2020年6月21日（日）14:30～15:30

会議場：Zoom 会議システム

総社員数：81名

出席社員数：64名

（内訳：本人出席35名／委任状出席29名）

よって『定款』第18条および第20条の規定の定足数以上を充足（*第18条および第20条による過半数は41名）

陪席者：4名

議長：下山幸成

議事録署名人：金丸敏幸、馬場千秋

議事録作成者：馬場千秋

I. 開会

下山幸成総務担当理事より、定款所定の定足数を満たした旨の報告があり、社員総会の開会が宣言された。

II. 会長挨拶

寺内一会长より、コロナ禍でのZoomによる開催に

より、多くの社員にご出席いただいたことに関する御礼といくつかの案件についての慎重な審議のお願いについて挨拶があった。

III. 議長選出

寺内一会長が議長の選出について諮ったところ、議長に下山幸成氏が選出された。

IV. 議事録署名人選出

議案審議に先立ち、議長が議事録署名人2名について、金丸敏幸氏と馬場千秋氏の両名を指名したい旨を述べたところ、異議なく可決された。

V. 審議案件

第1号議案 会員異動状況報告の件

下山幸成総務担当理事より、平成31・令和元(2019)年度会員異動状況について報告があり、可決された。

第2号議案 平成31・令和元(2019)年度事業報告・収支決算の件

1. 平成31・令和元(2019)年度事業報告

下山幸成総務担当理事より、平成31・令和元(2019)年度事業報告の説明があり、下記1~6号事業がすべて可決された。

- (1) 1号事業：大学英語教育及び言語教育関連の研究理論の発表及びその実践結果の報告のための大会、セミナー等の開催
- (2) 2号事業：紀要、学会誌等の出版物の刊行
- (3) 3号事業：大学英語教育に係る国内外の研究者・学術団体・諸機関の実践活動に対する表彰
- (4) 4号事業：大学英語教育に係る国内外の研究者・学術団体・諸機関との協力
- (5) 5号事業：大学英語教育及び言語教育関連の理論及びその実践方法に関する調査・研究
- (6) 6号事業：その他のこの法人の目的を達成するために必要な事業

2. 平成31・令和元(2019)年度決算

浅川和也財務担当理事より、平成31・令和元(2019)年度の決算報告、棚卸資産についての報告があり、可決された。

3. 監事監査報告

笹島茂監事より、平成31・令和元(2019)年度の事業監査および会計監査に関して、適正であった旨報告があり、可決された。

第3号議案 『定款』変更の件：個人情報の取り扱いに関する条文の追加

下山幸成総務担当理事より、JACETの個人情報の取り扱いに関して、『定款』の第49条に2として新たに以下の条文を追加することが提案され、承認された。

「2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める。」

VI. 報告

1. 令和2(2020)年度事業計画および収支予算

下山幸成総務担当理事より、令和2(2020)年度の事業計画および人事について説明があった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国際大会の中止ならびに支部の活動の中止・自粛により、事業計画の大幅な変更があったことについて、補足説明があった。また、浅川和也財務担当理事より、事業計画に基づいた収支予算ならびに事業計画変更後の修正予算について説明があった。

2. 現行規程等報告

下山幸成総務担当理事より、平成31・令和元(2019)年度中に改正が行われた規程、ガイドライン等について報告があった。

VII. 閉会

以上をもって一般社団法人大学英語教育学会定時社員総会の議事を終了したので、議長は閉会を宣した。

以上

2020年度 一般社団法人大学英語教育学会 会員総会報告

今年度は国際大会が中止となり、例年大会時に行っていた会員総会を開く場がなくなってしまいました。そこで、2020年度第2回理事会および総務財務会議で検討した結果、今年度はメーリングリスト、ウェブサイト、フォーム入力を利用した会員総会とさせていただきます。

会員総会時に従来行っていた情報提供、質問受付、および質問に対する回答を、ウェブ上での資料提示、フォームでの質問受付、メールでの回答という形で行い、今年度の会員総会とさせていただきます。

1. 会員総会告示

8月11日に全会員宛のメーリングリストで会員総会を告示するとともに、手順をご連絡しました。

2. 資料提示

以下の各内容をそれぞれのリンク先で提示させていただきました。

1) 役員一覧

2) 人事表

https://www.jacet.org/about_jacet/executives/

3) 2019年度事業報告

4) 2019年度財務諸表

5) 2020年度事業計画（修正版を含む）

6) 2020年度予算書（修正版を含む）

https://www.jacet.org/about_jacet/annual-plan/

※修正版はコロナ禍の影響で変更になった行事を反

映したものです。

7) 定款（第9章 情報公開及び個人情報の保護の変更）

8) 大学英語教育学会褒賞規程（賞の種類の変更）

9) 学会運営規程（字句修正）

10) 個人情報保護方針（新規）

https://www.jacet.org/about_jacet/agreement/

3. 質問受付

Google Forms で質問を受け付けました。

質問受付期間：8月11日(火)～8月15日(土)

4. 質問への回答

質問受付期間終了後にフォームにご入力いただいたメールアドレス宛に回答し、質問と回答内容は原則としてウェブ上にて公開することとしました。

5. 会員総会報告

質問は1件もありませんでした。以上、ご報告いたします。

一般社団法人大学英語教育学会

2019（平成31・令和元）年度事業状況報告書

定款第5条第1項の一から六に掲げる2019（平成31・令和元）年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

1号事業報告：大会セミナー等事業

(1) JACET 第58回国際大会（名古屋、2019）の開催

2019年8月28日から30日まで名古屋工業大学（愛知県名古屋市）において、「「ボーダレス」の先に変革する社会における英語教育（Beyond 'Borderless' : English Education in a Changing

Society)」をテーマに JACET 第 58 回国際大会（名古屋、2019）を開催した。約 800 人の参加者があった。本大会は、基調講演 3 件、海外提携学会代表による招待講演 8 件、全体シンポジウム 2 件、特別招待講演 1 件、国内招待講演 1 件をはじめ、中部支部企画として特別シンポジウム 2 件、State of the Art シリーズとして特別ワークショップ 3 件、特別委員会報告 1 件、賛助会員特別シンポジウム 4 件、賛助会員特別発表 1 件、特別企画ワークショップ 2 件、研究会ポスターセッション 21 件、Doctoral Thesis ポスターセッション 6 件、支部企画グローバルポスターセッション 6 件、SIG 研究会ポスターセッション 21 件、外部試験テストポスターセッション 10 件、ESP 産学連携ポスター発表 6 件と、多岐に渡る内容で行われた。一般発表としては、研究発表 53 件、実践報告 33 件、学生発表 8 件、シンポジウム 7 件、ワークショップ 6 件、賛助会員発表 6 件、ポスターセッション 13 件が行われた。また、今回初めて Travel Grant が海外からの発表者 3 名に授与された。

本大会の全体報告および基調講演、招待講演、全体シンポジウム、支部企画、特別企画ワークショップ、賛助会員特別シンポジウム、特別委員会報告は、12 月に刊行した『JACET 通信 206 号』に掲載し、学会ウェブサイトで会員に周知した。また、後援名義許可をいただいた文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会への報告を行い、大幸財団に補助金交付後の報告書を提出した。

(2) JACET 第 2 回ジョイントセミナー（東京、2019）の開催

2019 年 8 月 20 日から 22 日に玉川大学大学教育棟 2014 において、第 46 回サマーセミナー&第 7 回英語教育セミナーを併せた JACET 第 2 回ジョイントセミナー（東京、2019）を開催した。“ELT materials development and use: Linking theory and practice”（これからの英語教材の開発と活用—理論と実践の

連携を求めて—）というテーマのもと、シンガポール国立教育学院の Willy Renandya 先生、玉川大学の小田眞幸先生、そして熊本大学の合田美子先生を講師として招き、講義とパネルディスカッション、さらに各講師による参加者のポスター発表へのコメント提供などが行われた（JAAL in JACET のポスター展示のほか、ポスター発表 9 件、賛助会員 8 社による教材展示など）。参加者は 118 人で、活発な意見交換や情報交換が行われ、3 日間の研修で当該テーマについての理解を深めた。実施内容については『JACET 通信 No.206』で報告した。今後も同一テーマでセミナーを開催し、成果をまとめて専門書として刊行する予定である。

(3) 支部大会の開催

以下のように、各支部において支部大会が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となった。大会内容については、各支部ニューズレターで報告された。

- ・北海道支部大会 2019 年 7 月 6 日
- ・東北支部大会 2019 年 6 月 29 日
- ・関東支部大会 2019 年 7 月 7 日
- ・関西支部大会 2019 年 11 月 16 日
- ・中国・四国支部大会 2019 年 6 月 1 日、10 月 19 日
- ・九州・沖縄支部大会 2019 年 7 月 13 日

(4) 支部講演会の開催

以下のように、各支部において講演会が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・東北支部講演会 2019 年 11 月 24 日
- ・関東支部講演会 2019 年 5 月 11 日、6 月 8 日、12 月 14 日
- ・中部支部講演会 2019 年 6 月 15 日
- ・関西支部講演会 2019 年 6 月 22 日、10 月 5 日、2020 年 3 月 14 日(延期)

・九州・沖縄支部講演会 2019年7月13日、11月23日

(5) 支部研究会等の開催

以下のように、各支部において研究会等が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・北海道支部研究会 2019年11月23日、2020年2月29日(開催中止)
- ・関東支部月例研究会 2019年4月13日、9月14日、11月9日、2020年1月11日
- ・中部支部研究会 2019年11月16日、2020年3月7日(開催中止)
- ・中国・四国支部地区大学間連携イベント Oral Presentation & Performance (OPP)研究会 2019年12月15日

2号事業報告：出版物刊行事業

(1) 『紀要』の刊行

2020年3月20日に『JACET Journal』64号を刊行した。英語教育の分野と応用言語学における質的研究や量的研究など種々の観点に基づく論文、リサーチ・ノート、及びブックレビューの3つの分野の応募を会員から募集し、厳正な審査を行い、掲載、非掲載を決定した。会員及び英語教育関係機関(国立国会図書館、大学基準協会、コンピュータ利用協議会、全国語学教育学会、海外提携学会等)へ送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『Selected Papers』の発行

2019年8月に『JACET International Convention Selected Papers』6号を発行した。国際大会で口頭発表(一般ポスター発表も含む)した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えるため、また海外の学会や英語教育関係者に日本の研究をリアルタイム

で発信するため、電子ジャーナル(オンライン)として発行した。

(3) 『JACET 通信』の刊行

通信を3回刊行し、大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより、会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また、国内の他学会からの寄稿により、学際的な教育や研究の動向を知ることができた。206号では第58回国際大会報告、第2回ジョイントセミナー報告、2019年度JACET賞報告、2019年度JACET名誉会長賞報告、2019年度トラベルグラント受賞報告を行うとともに、巻頭言では会長から「JACET 創立60周年に向けての諸活動の概要—総務関連を中心に—」として2019年度以降の活動方針が掲載された。

『JACET 通信』205号 2019年7月1日刊行(日本語、ウェブサイト版)

『JACET 通信』206号 2019年12月1日刊行(日本語、印刷版)

『JACET 通信』207号 2020年3月15日刊行(英語、ウェブサイト版)

(4) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し、会員及び英語教育関係者等へ送付した。支部紀要は、支部会員の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えた。また、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

『北海道支部紀要』16号 2020年3月20日

『TOHOKU TEFL (JACET 東北支部紀要)』8号 2020年3月31日

『関東支部紀要』7号 2020年3月31日

『中部支部紀要』17号 2019年12月25日

『JACET Kansai Journal』22号 2020年3月31日

『大学英語教育学会 中国・四国支部紀要』17号 2020年3月31日

『The JACET Kyushu-Okinawa Chapter Annual Review of English Learning and Teaching』24号
2019年11月30日

(5) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

『JACET 北海道支部ニューズレター』33号 2020年3月30日

『JACET 東北支部通信』44号 2020年3月31日

『JACET 関東支部ニューズレター』13, 14号 2019年9月30日、2020年3月31日

『JACET Chubu Newsletter』42, 43号 2019年5月10日、2020年1月25日

『JACET Kansai Newsletter』83, 84, 85号 2019年6月17日、7月31日、11月1日

『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』23, 24号 2019年7月30日、2020年1月20日

『JACET 九州・沖縄支部ニューズレター』35号 2019年4月2日

3号事業報告：表彰事業

(1) 大学英語教育学会賞の表彰

2019年8月28日から8月30日に名古屋工業大学で開催された大学英語教育学会（JACET）第58回国際大会（名古屋、2019）において、論文部門1件、新人発表部門1件の授賞を行った。受賞者に対しては賞状とともに記念品を贈呈した。

令和元（2019）年度授賞者

大学英語教育学会賞論文部門

受賞者：卯城祐司（筑波大学）、濱田彰（明海大学）、森好紳（白鷗大学）、細田雅也（東京都市大学）、多田豪（東邦大学）、神村幸蔵（筑波大学大学院生）、大河原にし香（株式会社ビズオース）

対象業績：論文 “Goal-Oriented L2 Reading Processes in Maintaining the Coherence of Narrative Comprehension” (JACET Journal No. 62 (2018), pp.109-128)

大学英語教育学会賞新人発表部門

受賞者：福田晶子（立教大学大学院生）

対象業績：研究発表 “Changes in Learner Beliefs in Self-Regulated Learning: A Case Investigation of an English Self-Study” (大学英語教育学会 (JACET) 第58回国際大会 (名古屋、2019) 2019年8月28日発表)

その他の部門に関しては、今年度は該当者がなかった。

4号事業報告：協力事業

(1) 関係学術団体への派遣 I (海外提携学会)

① AILA (Association Internationale de Linguistique Appliquée) EIBC

2019年6月24日にフランスで開催された AILA (国際応用言語学会) の EBIC business meeting に、AILA 担当で AILA EBIC メンバーでもある委員を派遣した。会長・副会長・事務局長、前会長の報告の後、以下のような事項について審議がなされた。(1) 名誉会員の選出について、(2) 2018年度の活動報告と決算、(3) 2019年度予算、(4) AILA 年会費一部値上げについて、(5) 各委員会報告 (ReN、出版委員会、AILA-Europe、AILA-Middle East、AILA-East、AILA Latin America、各国所属団体報告、言語使用に関する法律支援委員会、戦略的協働委員会など)、(6) 新 affiliate members の承認 (Indonesia, Thailand, Bosnia & Herzegovina)、(7) AILA 2020 Groningen 大会の準備状況報告、(8) AILA 2023 Lyon 大会の準備状況報告、(9) その他の報告・協議が行われた。

② The Joint Conference (KATE & PKETA 他) /KATE (The Korea Association of Teachers of

English)、PKETA(Pan Korea English Teachers Association)大会へ派遣

2019年7月4日から6日に大韓民国で開催された2019 Joint International Conference on English Teaching and Learning in Korea に本学会代表者1名をKATEへ、もう1名をPKETAへ派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

③ MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

2019年8月13日から15日にThe 27th MELTA International Conferenceがマレーシアのサラワクで開催された。本学会より学会代表者1名を派遣し、研究発表のほか、携学会関係者との意見交換を行った。

④ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

2019年9月28日に大韓民国で開催されたALAK 2019 International Conferenceに本学会代表者2名(内1名はAILA East Asia SymposiumのJACET代表)を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑤ ETA-ROC (English Teachers' Association of Republic of China)

2019年11月9日から10日に台湾で開催されたThe 28th International Symposium and Book Fair on English Teachingに本学会より学会代表者1名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑥ Thai TESOL (Thailand TESOL)

2020年1月30日から2月1日にタイ王国で開催されたThe 40th Thailand TESOL and PAC International Conferenceに本学会代表者1名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を

行った。

⑦ RELC (Regional Language Centre)

2020年3月16日から18日にシンガポール共和国で開催された55th RELC International Conferenceに本学会代表者1名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(2) 関係学術団体への派遣II (国内提携学会)

① JALT (The Japan Association for Language Teaching)

2019年11月1日から4日に愛知県で開催された45th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibitionに本学会代表者1名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(3) 提携学会からの代表者受け入れ

① JACET 国際大会での Reception 開催

2019年8月27日に開催された第58回(2019年度)国際大会学術交流レセプションに提携学会からの代表者を招待し、親睦を深めるとともに情報交換を行った。

② JACET 国際大会での提携学会学術交流会議開催

2019年8月28日に提携学会学術交流会議を行い、提携文書内容の再検討、共同研究活動の審議などを行い、各提携団体とのさらなる研究交流の可能性が広がった。

③ JACET 国際大会での招聘発表、シンポジウムの実施

2019年8月28日から30日に開催された第58回(2019年度)国際大会に、国外・国内提携学会からの代表者を招聘し、学術交流、協力活動に関する事業を計画し、招待講演に関わる手配、アテンドなどを行

った。招待講演を通して各提携団体とのさらなる研究交流の可能性が広がった。

5号事業報告：調査研究事業

(1) 専門分野別の研究会活動

48の研究会がそれぞれの分野での調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を行った。それにより、大学英語教育の発展に寄与し、会員相互の専門知識と技能の向上、会員の知見による学術の発展及び社会への還元を行った。また、各研究会の研究成果物を可能な限り公開できるように、そのための整理を行った。

(2) JAAL in JACET 学術交流集会の開催

2019年11月30日に高千穂大学で「第2回JAAL in JACET 応用言語学学術交流集会（東京、2019）」を開催した。「研究者間、研究会間、産学連携、学会連携など横のつながりを創り出すような学術交流集会」を目標として、研究発表30件、研究会のポスター発表17件、賛助会員展示13件、賛助会員プレゼン13件、そして、情報交換会、シンポジウム「応用言語学の言語横断的（Translingual）連携の可能性」を実施し、154名が参加した。本学術交流集会の公式ホームページ（<https://jaal.site/2019/>）を設置し、情報を発信すると共に、情報交換会の報告書『第2回JAAL in JACET 学術交流集会 情報交換会まとめ』、『JACET 通信』、論文集『JAAL in JACET Proceedings, Volume 2』（査読付き）を通じて、その成果を公表した。論文集については以下のウェブ上に置き、研究成果を国内外に発信した。

http://www.jacet.org/JAAL_in_JACET_Proceedings/JAAL_in_JACET_Proceedings_Volume2.pdf/

(3) 全国都道府県英語教育研究テーマの調査研究

① 質問紙調査の実施

都道府県及び市レベルの自治体の教育委員会における英語教育振興のための取り組みを把握するために全国862のすべての都道府県及び市レベルの自治体の教育委員会に質問紙を郵送した。ウェブでも回答可とし、2019年7月から9月末まで実施した。回収率は全体で31%（266件）、都道府県単位で40%（19件）、市単位では30%（245件）であった。

② 分析結果の口頭発表

2019年11月30日に「第2回JAAL in JACET 学術交流集会」で口頭発表（発表タイトル「全国都道府県英語教育研究テーマの調査研究—全国市レベルの取り組み—」）を行った。

③ 分析結果の出版

口頭発表だけでなく、成果を発刊してJACET内外に公開するため、第2回JAAL in JACET 学術交流集会のProceedingsに掲載した。（掲載タイトル「全国都道府県における英語教育研究の実態調査—全国市レベルの取り組み—」）

④ 面談調査の実施

自治体の取り組みを明らかにするという本特別委員会の目的を来年度に到達させるための準備として、2020年2月20日と21日に、他の教育委員会から注目される福井県教育委員会、福井県勝山市教育委員会での教員研修見学と面談調査を行った。

⑤ 分析結果の報告

質問紙を送った862自治体の教育委員会に、はがきにURLを記載した通知で2019年度分析結果を報告した。

6号事業報告：その他法人事業

(1) 理事会の開催

2019年5月19日、6月16日(午前)、6月16日(午後)、8月27日、12月22日、2020年3月7～11日(メール審議)の計6回、理事会を行った。

(2) 定例社員総会の開催

2019年6月16日に令和元(2019)年度定例社員総会を行い、平成30年度決算、令和元(2019)年度人事、諸規程の承認等を行った。内容はウェブサイトおよび『JACET 通信』で報告した。

(3) その他の委員会の開催

定例の各運営委員会、運営会議、顧問会議、支部委員会、支部役員会を適宜行った。

(4) 『会員名簿』の刊行

会員情報の提供、定款等規則の開示を目的として『一般社団法人大学英語教育学会(JACET)会員名簿』を令和元(2019)年12月1日に発行した。

(5) JACET アーカイブの作成

2019年度は特にJACET サマーセミナーを中心とした学会の歴史に関する各種資料の整理、保存、調査研究を行った。収集、整理された資料を第2回ジョイントセミナー、第58回国際大会、第2回JAAL in JACET 学術交流集会で公開した。

(6) 将来構想委員会

JACET という組織の将来を見据えた提言を行うための委員会として発足し、2019年12月21日に第1回将来構想委員会を開催した。本部支部を含めてJACET 全体の現在抱えている課題の掘り起こしを行った。第2回を2020年3月14日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症のために延期となった。

(7) 支部総会の開催

各支部において、支部総会を開催した。

- ・北海道支部総会 2019年7月6日
- ・東北支部総会 2019年6月29日
- ・関東支部総会 2019年7月7日、11月9日
- ・中部支部総会 2019年6月15日、11月16日
- ・関西支部総会 2019年11月16日
- ・中国・四国支部総会 2019年6月1日
- ・九州・沖縄支部総会 2019年7月13日

以上

令和元（2019）年度収支計算書

法人名：一般社団法人 大学英語教育学会

収支計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	8,000	22,365	△ 14,365
②入会金収入			
入会金収入	176,000	141,000	35,000
③会費収入			
一般会員会費収入	19,800,000	19,368,000	432,000
学生会員会費収入	450,000	394,000	56,000
維持会員会費収入	169,000	169,000	0
賛助会員会費収入	1,920,000	1,864,000	56,000
団体会員会費収入	540,000	460,000	80,000
会費収入計	22,879,000	22,255,000	624,000
④事業収入			
展示・広告収入	3,091,500	2,562,000	529,500
参加費収入	8,863,500	6,779,500	2,084,000
書籍販売収入	1,530,000	1,475,554	54,446
雑収入	1,680,000	1,315,000	365,000
事業収入計	15,165,000	12,132,054	3,032,946
⑤寄付金収入			
寄付金収入	500,000	500,000	0
⑥雑収入			
受取利息収入	1,000	76	924
広告収入	100,000	75,000	25,000
雑収入計	101,000	75,076	25,924
事業活動収入計	38,829,000	35,125,495	3,703,505
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
印刷製本支出	4,843,500	4,739,393	104,107
給料手当支出	2,825,333	3,098,458	△ 273,125
臨時雇賃金支出	1,453,620	1,004,700	448,920
賞与支出	488,627	488,627	0
旅費交通費支出	4,175,277	3,831,347	343,930
通信運搬費支出	2,141,200	1,995,018	146,182
消耗什器備品費支出	1,075,226	698,417	376,809
会議費支出	3,472,016	2,921,412	550,604
保険料支出	31,400	31,400	0
諸謝金支出	798,685	549,092	249,593
負担金支出	180,000	173,015	6,985
図書研究費支出	1,015,000	848,914	166,086
事業費支出計	22,499,884	20,379,793	2,120,091
②管理費支出			
給料手当支出	2,267,520	2,604,128	△ 336,608
賞与支出	453,504	453,504	0
臨時雇賃金	10,000	0	10,000
退職給付支出	0	1,400,134	△ 1,400,134
法定福利費支出	700,000	971,827	△ 271,827
会議費支出	373,040	187,226	185,814
旅費交通費支出	2,888,180	1,982,498	905,682
通信運搬費支出	1,398,060	1,389,134	8,926
消耗什器備品費支出	647,600	655,128	△ 7,528
修繕費支出	2,000	0	2,000

印刷製本費支出	947,380	755,752	191,628
支払手数料支出	1,196,000	1,230,140	△ 34,140
光熱水料費支出	140,000	146,191	△ 6,191
賃借料支出	2,519,130	2,441,840	77,290
諸謝金支出	80,000	98,666	△ 18,666
租税公課支出	15,000	0	15,000
負担金支出	60,000	60,000	0
図書研究費支出	5,000	0	5,000
雑支出	195,600	125,608	69,992
管理費支出計	13,898,014	14,501,776	△ 603,762
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
事業活動支出計	36,467,898	34,951,569	1,516,329
事業活動収支差額	2,361,102	173,926	2,187,176
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①その他の支出			
退職積立金支出	1,037,000	0	1,037,000
投資活動支出計	1,037,000	0	1,037,000
投資活動収支差額	△ 1,037,000	0	△ 1,037,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	—	0
	0		
当期収支差額	1,324,102	173,926	1,150,176
前期繰越収支差額	0	4,649,416	△ 4,649,416
次期繰越収支差額	1,324,102	4,823,342	△ 3,499,240

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）	現金		113,403
	普通預金		8,034,061
	定期預金		202,088
	未収金		61,200
	たな卸資産		100,725
流動資産合計			8,511,477
（固定資産） 基本財産	定期預金		20,000,000
	その他固定資産	什器備品	1
		敷金	963,900
固定資産合計			20,963,901
資産合計			29,475,378
（流動負債）	未払費用		2,960,979
	未払法人税等		70,000
	前受金		500,000
	預り金		56,431
流動負債合計			3,587,410
固定負債合計			0
負債合計			3,587,410
正味財産			25,887,968

監事監査報告書

一般社団法人 大学英語教育学会

会長(代表理事) 寺内 一 殿

私ども監事は、一般社団法人大学英語教育学会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの業務について監査を実施しました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

各監事は理事会に出席するほか、理事および法人の関係者から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施しました。

また、当該事業年度に係る貸借対照表ならび正味財産増減計算書、およびその附属明細書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

(1) 業務監査の結果

法人の業務について、法令、定款および規則等に従い、適正に運営されているものと認めます。

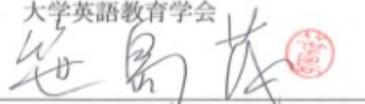
(2) 会計監査の結果

貸借対照表ならび正味財産増減計算書、およびその附属明細書は、法人の財産および損益の状況を正しく示しているものと認めます。

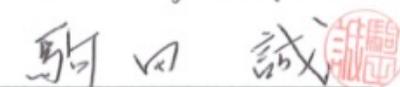
令和2年5月12日

一般社団法人 大学英語教育学会

監事

監事

支 部 だ よ り

<九州・沖縄支部>

(1) 支部研究大会

①第 32 回支部研究大会 (中止)

日時：2020 年 7 月 4 日 (土) 9:10～17:40

場所：西南学院大学

大会テーマ：これからの大学英語教育のあり方：高大
接続改革を受けて Innovations in University
English Education: Connecting Secondary and
Tertiary Education

(2) 研究会

①第 205 回東アジア英語教育研究会

日時：2020 年 2 月 15 日 (土) 15:30～17:35

場所：西南学院大学

研究発表

- 1) 「短期語学留学で大学生の英語は伸びるのか」 徳永美紀 (福岡女学院大)
- 2) 「日本の英語教育と大学入試改革」 福永淳 (九州工業大)

②第 206 回東アジア英語教育研究会 (中止)

日時：2020 年 3 月 21 日 (土) 15:30～17:35

場所：西南学院大学

研究発表

- 1) 「JACET サマーセミナーの歴史に関する一考察—第 1 回、第 2 回セミナーの特徴を中心に—」 水島孝司 (南九州短期大)
- 2) 「学生と教師のリフレクションツール: タキソノミー・テーブルの活用」 中西千春 (国立音楽大)・川井一枝 (宮城大)

③第 207 回東アジア英語教育研究会 (中止)

日時：2020 年 4 月 11 日 (土) 15:30～17:35

場所：西南学院大学

- 1) 「日本の高等教育における EMI (English-Medium Instruction) : 国際化の現場とその課題」 金志佳代子 (兵庫県立大)
- 2) 「3 週間の短期語学留学による異文化対応力の向上は可能か」 古村由美子 (長崎大)
- 3) 「日本の高等教育における食育英語の CLIL」 津田晶子・仁後亮介 (中村学園大)

※第 208 回～第 211 回はいずれも中止となりました。

④第 212 回東アジア英語教育研究会

日時：2020 年 10 月 17 日 (土) 15:30～16:35

場所：オンライン開催

研究発表

- 1) 「コロナ渦のオンライン授業における学生のグローバル意識の変化に関する考察—BEVI-j の分析から見えるもの」 佐々木有紀 (福岡大)・新田よしみ (福岡大)

⑤第 213 回東アジア英語教育研究会

日時：2020 年 11 月 28 日 (土) 15:30～17:35

場所：オンライン開催

研究発表

- 1) 「内系ローマ字と外系ローマ字の統一—中国、韓国そして日本?—」 米岡ジュリ (熊本学園大)
- 2) 「ライティング活動におけるテスト及び評価に関する一考察」 柏木哲也 (北九州市立大)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会 (中止)

日時：2020 年 7 月 4 日 (土)

会場：西南学院大学

議題：

- 1) 2019 年度活動報告について

2) 2020 年度活動計画について

(2) 支部役員会

①2020 年度第 1 回役員会

日時：2020 年 4 月 18 日（土）

場所：オンライン会議

議題：2020 年度支部研究大会中止による今後の事業計画について、2020 年度秋季学術講演会について

②2020 年度第 2 回支部役員会

日時：2020 年 5 月 23 日（土）

場所：オンライン会議

議題：次期支部長選挙について

③2020 年度第 1 回支部紀要編集委員会

日時：2020 年 6 月 6 日（土）

場所：オンライン会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 25 号の編集について

④2020 年度第 3 回支部役員会

日時：2020 年 7 月 4 日（土）

場所：オンライン会議

議題：支部長選挙の実施、その他

④2020 年度第 2 回支部紀要編集委員会

日時：2020 年 7 月 11 日（土）

場所：オンライン会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 25 号の編集について

⑤2020 年度第 3 回支部紀要編集委員会

日時：2020 年 9 月 1 日（火）

場所：メール会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 25 号の編集について

⑥2020 年度第 4 回支部役員会

日時：2020 年 10 月 10 日（土）

場所：オンライン会議

議題：秋季学術講演会について

⑦2020 年度第 4 回支部紀要編集委員会

日時：2020 年 10 月 24 日（土）

場所：オンライン会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 25 号の編集について

⑧2020 年度第 5 回支部役員会

日時：11 月 21 日

場所：オンライン会議

議題：2020 年度秋季学術講演会について

3. その他

1) 支部ニューズレターの発行

『JACET 九州・沖縄支部ニューズレター』

発行日：2020 年 4 月 2 日

2) 支部紀要の発行

『JACET 九州・沖縄支部紀要』26 号

発行日：2020 年 11 月 30 日

(伊藤健一・北九州市立大学)

<中国・四国支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 春季研究大会（中止）

日時：2020 年 6 月 6 日（土）

場所：香川大学

(2) 秋季研究大会

日時：2020 年 10 月 17 日（土）12：50～14：55

場所：オンライン開催 (Zoom)

1) “The Roles of the L1 and L2 in Remote Learning” KAWAMOTO, Julia (愛媛大), CARSON, Eleanor (松山大), WILLEY, Ian (香川大)

2) “To What Extent Can Teachers Promote Positive Learner Attitudes Towards Reading English Through the Use of a Digital Library?” HOUGHAM, Daniel, PECK, Marshall (広島女学院大)

3) 「小島信夫『アメリカン・スクール』の“英語”に関する一考察」高垣俊之 (尾道市立大)

4) 「オンデマンド型オンライン授業としての英語科目の実践報告」森田光宏・天野修一・榎田一路・鬼田崇作・草薙邦広・阪上辰也・高橋有加・中川篤 (広島大)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 第1回支部役員会 (メール会議)

日時：2020年5月25日(月)～6月1日(月)

議題：

① 報告事項

1) 2020年度中国・四国支部春季研究大会の中止とその対応について

2) 2020年度人事について

3) 理事会報告 (2020年5月17日に遠隔会議として開催)

② 審議事項

1) 2020年度の活動について

2) 2021年度の事業計画について

3) 2021年度中国四国支部人事について

4) 第60回記念国際大会 (中国・四国担当) に伴う業務の支部担当者について

5) 支部研究大会の発表資格、及び支部研究紀要への投稿資格について

(2) 第2回支部役員会

日時：2020年10月17日(土) 11:15～12:45

場所：オンライン開催 (Zoom)

① 報告事項

1) 2020年度第1回役員会 (遠隔会議) 議事録確認

2) 2021年の年次国際大会ーオンラインでの実施について等

3) 紀要18号の特別企画、及び論文の事前申し込み状況について

4) 2021年国際大会での支部企画について

② 審議事項

1) 2020年度の活動について

2) 2021年度の事業計画と予算案について

3) 2021年度の人事案について

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『大学英语教育学会中国・四国支部研究紀要』18号
発行日：2021年3月31日

(2) 支部ニューズレターの発行

『JACET 中国・四国支部 Newsletter』25号
発行日：2020年7月30日

(松岡博信・安田女子大学)

<関西支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

日時：2020年11月14日(土)～11月21日(土)

場所：インターネットによるオンデマンド動画配信
大会テーマ：「変化の時代を生きる英語教育 2：テクノロジーとWell-Being」

基調講演：

“Wellness/Positive Psychology in ELT Online – by a Non-Techie” Marc Helgesen (宮城学院女子大)

特別講演 1:

「コミュニケーション場の可視化と納得型の学習支援」三宅美博(東京工業大)

特別講演 2:

「コロナ禍中のSociety 5.0/DX時代における英語・世界観教育 -Dominus illuminatiomear-」

小張敬之(青山学院大)

特別講演 3:

“Microsoft Teams for the Classroom: Beyond Emergency Remote Teaching (ERT)”

Matthew Barbee (同志社大)

企画シンポジウム:

「新型コロナ禍における Well-Being の向上を目指したオンライン教育」

ファシリテーター: 植松茂男(同志社大)

講師: 岩居弘樹(大阪大)

小張敬之(青山学院大)

研究発表:

1) 「英語を知っているということは色を知っているということなのか?」仁科恭徳(神戸学院大)

2) “Survey Analysis of Teachers’ Self-efficacy for Teaching English Online” リー・シーチェン・ナンシー(大阪大)、小川知恵(京都産業大)

3) 「読解方略に関するメタ認知意識と英語読解力の関係」上野裕子(同志社女子大学大・院)

4) 「発音の「明瞭性」が重視される英語教育における学習者の「発音不安」: 英語専攻の大学院生を対象として」羽尾将司(関西大学大・院)

実践報告:

1) 「国際教養学科2年生を対象としたオンライン授業でのタスク中心活動の展開事例と英語力に対する効果について」原めぐみ(追手門学院大)

2) 「オンラインファイル共有ツールを活用した自律性を促す授業外学習MTD(日英等価表現集)」

ラムスデン 多夏子(京都外国語大)

3) 「オンライン多読システムを利用した授業の構成とアクティビティー」井村誠(大阪工業大)

4) 「オンライン授業における英語プレゼンテーション教育の影響と可能性」奥切恵(聖心女子大)

5) 「オンライン・ライティングセンターの実践と課題—コロナ下で院生チューターが工夫したこと」

山下美朋(立命館大)

6) 「ウェブ会議システムの自動データ化機能を利用

したディスカッションの分析」森下美和(神戸学院大)・松岡真由子(追手門学院大)

7) 「大学生(現職院生含む)のTeacher Talkの本質を探究するオンライン講義—ICTを応用してCLIL授業を創る」柏木賀津子(大阪教育大)

8) “Improving English Skills by Watching Videos: Do Students Think Shadowing is Effective?”

チュウ・カーティス(摂南大)

9) 「学習者を活性化させるトランス・ランゲージング手法の試み」植松茂男(同志社大)

(2) 支部講演会

① 2020年度第1回支部講演会(中止)

日時: 2020年6月20日(土)

場所: 神戸国際会館

② 2020年度第2回支部講演会

日時: 2020年10月17日(土) 15:30~17:00

場所: オンライン開催

テーマ:

「開発テキスト Power-Up College English <Basic> の実践報告とリスニングに関する多角的な実証研究について」

研究発表:

1) 「Power-Up College English <Basic> の概要と実践報告」神野雅代(四天王寺大)

2) 「第二言語のリスニング発達における“理解可能なインプットの重要性”—fMRI 脳機能イメージングデータからの検証—」梶浦真由美(愛知淑徳大)

3) 「気づきを高めるためのリスニング指導」松村優子(近畿大)

③ 2020年度第3回支部講演会(予定)

日時: 日時: 2021年3月20日(土) 15:30~17:00

場所: オンライン開催

題目・講演者: 未定

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時: 2020年11月21日(土)

場所: オンライン開催

(2) 支部役員会

①2020年度第1回支部役員会

日時：2020年6月20日（土）

場所：オンライン開催

審議事項：

- 1) 次期支部長の選出について
- 2) MLでの非常勤公募情報の扱いについて
- 3) 支部主催以外の研究会告知について
- 4) ニュースレターの発行について

報告事項：

- 1) 支部長報告
- 2) 2020年度事業計画について
- 3) 2019年度予算実績および2020年度予算について
- 4) 2020年度人事について
- 5) 研究企画委員会報告
- 6) 紀要編集委員会報告
- 7) 2020年度JACET国際大会について

②2020年度第2回支部役員会

日時：2020年10月17日（土）

場所：オンライン開催

審議事項：

- 1) 2021年度事業計画（案）について
- 2) 2021年度予算（案）について
- 3) 2021年度人事（案）について
- 4) 支部紀要の研究ノートの取り扱いについて
- 5) News Letterについて
- 6) MLでの教員公募について
- 7) その他

報告事項：

- 1) 支部長報告
- 2) 研究企画委員会報告
- 3) 紀要編集委員会報告
- 4) 社員選挙について
- 5) その他

3. その他

(1) 支部ニュースレターの発行

1) JACET Kansai Newsletter No. 86

発行日：2020年7月17日

2) JACET Kansai Newsletter No. 87

発行日：2020年8月31日

3) JACET Kansai Newsletter No. 88

発行日：2020年11月7日

(阪上 潤・立命館大学)

<中部支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

日時：2020年9月12日（土）10:30～16:00

場所：オンライン開催

特別講演：

“A New Normal in Tertiary English Education in Korea in the COVID-19 Era” Haedong Kim (Hankuk Univ of Foreign Studies, Korea)

“New Reforms of Higher English Education in China” Junju Wang (Shandong Univ, China)

発表

「日本人英語学習者向け一貫性・結束性判断課題の項目分析と内容的妥当性の検証」藤田賢（愛知学院大）

「中部大学におけるオンライン全学英語教育の取り組み—教員間連携に焦点をあてて—」今村洋美（中部大）、大門正幸（中部大）

「情報工学分野の論文要旨の日英の語連鎖分析」石川有香（名古屋工業大）

「オンライン授業による「英語コミュニケーション」の実践と課題」松家鮎美（岐阜女子大）

“Difficulties Teaching Listening Online” JONES, Marc (Tokyo Kasei Univ)

「CEO プロフィールのディスコース分析」仁科恭徳（神戸学院大）

「Zoomを用いたジグソーディスカッションの可能性」佐藤雄大（名古屋外国語大）

“Get by in English Series: Fresh Insights” NUTT, Julyan (Tokai Gakuen Univ), MARSHALL, Michael (Tokai Gakuen Univ), KURAHASHI, Yoko (Tokai Gakuen Univ), MIYATA, Manabu (Nagoya City Univ)

「英語連語表現定着におけるシャドーイングの効果—学習者熟達度および教材難易度の検討」邢云（名

古屋大学大・院)、橋崎諒太郎(名古屋大学大・院)

「Zoom 授業でできることとすべきこと」 澁井とし子(東京福祉大)

“Analyzing Teachers’ Perceptions for Teaching English Online” OGAWA, Chie (Kyoto Sangyo Univ), LEE, Nancy (Osaka Univ)

「音声付きスライドと LINEを利用した講義と英語学習ハイブリッド授業の実践—言語習得論と国際英語論の観点から—」 塩澤正(中部大)

「Glexaを利用した課題提示型オンライン授業の実践」 上野之江(北海学園大)、品田淳智(株)VERSION2)

“Explicit Corrective Feedback Training to University Students in Peer Interaction” SHIMADA, Shonosuke (Meijo Univ (Student))

(2) 支部講演会

日時: 2020年10月17日(土)

場所: オンライン開催

講演1

「学習者の認知能力を活性化する英語学習法」 今井隆夫(南山大)

講演2

「『国際共通語』の解釈を考える—英語教育は何を指すのか」 柴田美紀(広島大)

(3) 秋季定例講演会(予定)

日時: 2020年12月5日(土)

場所: オンライン開催

講演・研究発表(題目等未定)

(3) 春季定例研究会(予定)

日時: 2021年3月6日(土)

場所: オンライン開催

講演・研究発表(題目等未定)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

第2回(予定)

日時: 2020年12月5日(土)

方法: 郵送

(2) 支部役員会

① 2020年度第6回役員会

日時: 2020年10月17日(土)

場所: オンライン開催

- 1) 本部報告
- 2) 事務局報告
- 3) 会計報告
- 4) 支部長選挙について
- 5) その他

② 2020年度第7回役員会(予定)

日時: 2020年12月5日(土)

場所: オンライン開催

③ 2020年度第8回役員会(予定)

日時: 2021年1月30日(土)

場所: オンライン開催

④ 2020年度第9回役員会(予定)

日時: 2021年3月6日(土)

場所: オンライン開催

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『中部支部紀要』18号

発行日: 2020年12月20日(予定)

(2) 支部ニューズレターの発行

JACET・Chubu Newsletter No. 45

発行日: 2020年12月20日(予定)

(佐藤雄大・名古屋外国語大学)

<関東支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 2020年度支部大会

日時: 2020年8月29日(土)・30日(日) 9:30~17:40

場所: Zoomを用いたオンライン開催

大会テーマ: 危機の時代と変わりゆく英語教育

The Times of Crisis and Changing English Education

研究発表6件、実践報告5件、賛助会員発表2件、SIG発表3件、関東支部特別企画1件、ワークショップ1件、参加者総数285名

(2) 支部講演会

①第1回講演会

日時：2020年4月新型コロナウイルス感染拡大状況によりJACET関東支部・東洋大学共催企画（第1回）として延期

②第2回講演会

日時：2020年10月3日（土）16:00～17:20

場所：オンライン開催

題目：「イタリアの小学校外国語教育—教材・教具を中心に—」

講演者：長田恵理（國學院大）

②第3回講演会（予定）

日時：2020年12月12日（土）16:00～17:20

場所：オンライン開催

題目：「英語教師の学びの過程と協同的振り返り」

講演者：浅岡千利世（獨協大）

(3) 講演会・ワークショップ（JACET関東支部・東洋大学共催企画）

①JACET関東支部・東洋大学共催企画（第1回）

日時：2020年6月13日（土）16:00～17:20

場所：Zoomを用いたオンラインでの開催

題目：「オックスフォード大学と持続可能な開発目標（SDGs）：英語4技能試験に向けたライティング指導の示唆」

講演者：中谷安男（法政大）

②JACET 関東支部・東洋大学共催企画（第2回）

日時：11月21日（土）16:00～17:20

場所：オンライン開催

題目：「テキストマイニングに基づく学習者コーパス研究の理論と方法」

講演者：李在鎬（早稲田大）

③JACET 関東支部・東洋大学共催企画（第3回）（予定）

日時：3月13日（土）16:00～17:20

場所：オンライン開催

題目：未定

講演者：未定

(4) JACET 関東支部座談会

①第1回

日時：5月23日（土）14:00～15:00

場所：Zoomを用いたオンライン開催

題目：「オンライン授業の課題と可能性について」

オンライン授業のプラスとマイナス、Blended Learning、オンライン授業と今後の新しい研究テーマに関して

※講演会等の詳細は、支部会員MLにて配信及び関東支部HP上に掲載されます。

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

第1回支部総会

日時：2020年8月29日（土）11:30～12:00

場所：オンライン開催

議題：2019年度事業報告・会計報告、2020年度事業計画

第2回支部総会

日時：2020年11月21日（土）15:20～15:50

場所：未定

議題：2021年度支部事業計画・予算、2021年度人事

(2) 支部役員会

①第1回支部運営会議

日時：2020年4月11日（土）14:30～15:30

場所：オンライン会議

議題：

- 1) 2020年度支部大会について
- 2) 2020年度支部総会について
- 3) 2020年度年間活動計画、人事について

②第2回支部運営会議

日時：2020年5月9日（土）14:30～16:40

場所：オンライン会議

議題：

- 1) JACET 関東支部・東洋大学共催企画講演会について
- 2) JACET 関東支部企画座談会について
- 3) 2020 年度支部大会について

③第3回支部運営会議

日時：2020年6月13日（土）14:10～15:30

場所：オンライン会議

議題：

- 1) 2020 年度支部大会について
- 2) JACET 関東支部・東洋大学共催企画について

④第4回支部運営会議

日時：2020年8月22日（土）14:30～15:35

場所：オンライン会議

議題：

- 1) 2020 年度支部大会について
- 2) 支部長選挙について

⑤第5回支部運営会議

日時：2020年10月3日（土）14:00～15:20

場所：オンライン会議

議題：

- 1) 2020 年度支部大会総括について
- 2) 支部長選挙について

⑥ 2020 年度支部運営会議（予定）

第6回11月21日（土）14:10～15:10

第7回12月12日（土）14:30～15:30

第8回2021年1月9日（土）14:30～15:30

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『JACET 関東支部紀要』第8号（予定）

発行日：2021年3月31日

(2) 支部ニューズレターの発行

①『JACET 関東支部ニューズレター』第15号（WEB版）

発行日：2020年10月31日

②『JACET 関東支部ニューズレター』第16号（WEB版）（予定）

発行日：2021年3月31日

（田口悦男・大東文化大学）

<東北支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

※6月27日（土）開催予定を変更し、11月14日（土）の支部例会と併せて開催

日時：2020年11月14日（土）13:00～16:00

場所：オンライン開催

講演：

「日英語の言語文化対照」高橋潔（宮城教育大）

(2) 支部例会（日本コミュニケーション学会東北支部との共催）

日時：2020年11月14日（土）13:00～16:00

場所：オンライン開催

実践報告：

「工学系学生スローラーナーへの英語学習の取り組みと課題」畠山研（八戸工業大）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2020年11月14日（土）12:30～13:00

場所：オンライン開催

議題：

- 1) 2019 年度事業報告、支部会計報告
- 2) 2020 年度事業計画案、予算案・運営方針、人事案等
- 3) 2021 年度事業計画案、予算案・運営方針、人事案等
- 4) *TOHOKU TEFL* (『JACET 東北支部紀要』) Vol. 9、『東北支部通信 (*JACET Tohoku Newsletter*)』 No.47 について

(2) 支部役員会

① 第2回役員会

※ 6月27日(土)開催予定を変更し、11月14日

(土)の支部例会と併せて開催

日時: 2020年11月14日(土) 12:10~12:30

場所: オンライン開催

議題:

- 1) 理事会報告
- 2) 2019 年度事業報告、支部会計報告
- 3) 2020 年度事業計画案、予算案・運営方針、人事案等について
- 4) 2020 年 11 月支部総会・支部大会・支部例会について
- 5) 2021 年度事業計画案、予算案・運営方針、人事案等について
- 6) *TOHOKU TEFL* (『JACET 東北支部紀要』) Vol. 9、『東北支部通信 (*JACET Tohoku Newsletter*)』 No.47 について
- 7) その他

3. その他

(1) 支部紀要の発行 (予定)

TOHOKU TEFL (『JACET 東北支部紀要』) Vol. 9

発行日: 2021 年 3 月 31 日

(2) 支部ニューズレターの発行 (予定)

『JACET 東北支部通信 (*JACET Tohoku*

Newsletter)』 No. 47

発行日: 2021 年 3 月 31 日

(岡崎久美子・仙台高等専門学校)

<北海道支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

① 2020 年度支部大会 (中止)

(2) 研究会

① 2020 年度第 1 回研究会 (中止)

② 2020 年度第 2 回研究会 (北海道英語教育学会および日本コミュニケーション学会北海道支部との共催 (予定))

日時: 2021 年 3 月 (日時未定)

場所: 北海学園大学

講演・研究発表: (未定)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時: 2020 年 11 月 7 日 (土) 12:30~12:50

会場: オンライン開催

議題:

- 1) 支部長報告
- 2) 2020 年度事業報告
- 3) 2021 年度事業計画
- 4) 2021 年度人事
- 5) 各種委員会報告
- 6) 2022 年度事業計画案
- 7) 2022 年度人事案

(2) 支部役員会

① 第1回役員会

日時：2020年4月13日（月）～16日（木）

場所：メーリングリストによる開催

議題：

- 1) 2020年度支部大会について
- 2) 2020年度支部総会について
- 3) 2020年度支部研究会について
- 4) 2020年度役員会の日時について
- 5) 茶菓責任者と本部国際交流委員の後任について
- 6) 2020年度役割分担について
- 7) 2021年度人事案について
- 8) 2021年度支部大会・研究会について
- 9) その他

② 第2回役員会

日時：2020年8月31日（月）～9月14日（月）

場所：メーリングリストによる開催

議題：

- 1) 理事会報告
- 2) 2020年度支部大会について
- 3) 2020年度支部総会について
- 4) 2020年度第3回支部役員会について
- 5) 2020年度第2回支部研究会について
- 6) 支部長選挙について
- 7) 2021年度支部人事案について
- 8) 北海道支部選出社員について
- 9) 2021年度支部大会・研究会について
- 10) その他

③ 第3回役員会

日時：2020年10月30日（金）～11月4日（水）

場所：メーリングリストによる開催

議題：

- 1) 2021年度支部大会について
- 2) 2020年度支部総会資料について
- 3) 支部NL (34号) について

4) 次回役員会について

5) その他

3. その他

(1) 2020年度支部紀要の発行（予定）

Research Bulletin of English Teaching, Vol. 17

発行日：2021年3月15日

(2) 2020年度支部ニューズレターの発行（予定）

『JACET 北海道支部ニューズレター』34号

発行日：2021年3月31日（インターネット上で公開）

（三ツ木真実・小樽商科大学）

編集後記

『JACET 通信』209号をお届けいたします。先生方皆さまにおかれましては、お忙しいところ、原稿をご執筆下さりまして、どうもありがとうございました。心より御礼申し上げます。

巻頭言では、寺内会長が「創立60周年を迎えるにあたって」において、JACETの意義と、その使命を果たすことについて、お示し下さりました。また、内藤理事は「JACET 創立60周年記念ウィーク」について、お書きになられています。今は、新型コロナウイルスの関係でたいへんな状況にありますが、その中でもJACETは意欲的な取り組みを続けております。ぜひ、ご一読いただけますなら幸いです。会員の皆さまにおかれましては、今はたいへんな時期ですが、どうかご自愛なさってお過ごしになられて下さい。

(金子)

編集：『JACET 通信』委員会

理事 富田かおる・山形大学
委員長 金子淳・山形大学
副委員長 田口悦男・大東文化大学
副委員長 岡崎久美子・仙台高等専門学校
水島孝司・南九州短期大学
Gilner, Leah・愛知大学
伊藤健一・北九州市立大学
松岡博信・安田女子大学
三ツ木真実・小樽商科大学
坂本輝世・滋賀県立大学
佐藤雄大・名古屋外国語大学

『JACET 通信』第209号

2020年12月1日発行

発行者 一般社団法人 大学英語教育学会 (JACET)

代表者 寺内 一

発行所 〒162-0831 東京都新宿区横寺町55

電話(03) 3268-9686 FAX(03) 3268-9695

URL : <http://www.jacet.org/>